

# 令和8年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和8年2月13日

上場会社名 アプライド株式会社

上場取引所

東

コード番号 3020 URL <http://www.applied-g.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長

(氏名) 岡 義治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 山口 圭介

TEL 092-481-7801

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 令和8年3月期第3四半期の連結業績(令和7年4月1日～令和7年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
8年3月期第3四半期	34,689	4.0	2,424	46.8	2,447	46.9	1,605	43.3
7年3月期第3四半期	33,339	9.1	1,651	21.6	1,666	21.5	1,119	20.8

(注)包括利益 8年3月期第3四半期 1,612百万円 (43.0%) 7年3月期第3四半期 1,127百万円 (20.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
		円 銭	円 銭
8年3月期第3四半期	593.83		
7年3月期第3四半期	414.29		

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
8年3月期第3四半期	22,320	13,241	58.8
7年3月期	20,179	11,953	58.7

(参考)自己資本 8年3月期第3四半期 13,124百万円 7年3月期 11,841百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
7年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
8年3月期		30.00		70.00	100.00
8年3月期(予想)		50.00			
				70.00	120.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 令和8年3月期の連結業績予想(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益				
	百万円	%	百万円	%	円 銭				
通期	47,500	0.4	2,900	8.7	2,900	7.8	1,950	10.3	721.45

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	8年3月期3Q	2,703,200 株	7年3月期	2,703,200 株
期末自己株式数	8年3月期3Q	355 株	7年3月期	269 株
期中平均株式数(四半期累計)	8年3月期3Q	2,702,877 株	7年3月期3Q	2,702,984 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（令和7年4月1日から令和7年12月31日まで）におけるわが国経済は、国内の物価高に伴う実質賃金の伸び悩み等により、個人消費の停滞感が続きました。また、海外における地政学的リスクの長期化に加え、国家間の通商政策への警戒感が高まるなど、国内外の経済環境は予断を許さない状況にあります。

IT業界では、令和7年10月マイクロソフト社によるWindows10のサポート終了を受け、個人・法人ともに入れ替え需要が活発化し、引き続き堅調に推移しました。一方で、コンピューター製造に不可欠な特定部材の供給不足によりIT機器の価格が高騰する傾向がみられ、先行きは不透明な状況となっています。

このような環境のもと、当社グループは、長年培ってきた幅広い部材調達網を活かして安定した製造量を確保するとともに、店舗・法人部門・通販／卸部門の多販路販売を状況に応じて柔軟に調整しました。堅調な法人需要に対応するためリスク分散を図りつつ、生産・技術部門の強化を含む計画的な設備投資を推進しました。

全国26店舗を展開するパソコン専門店「アプライド」では、個人向けにWindowsの入れ替え支援や家庭のデジタル環境を継続的にサポートするサービスを展開するとともに、法人向けビジネスセミナーの開催を通じ、コスト増をITで補う機器・サービスの提案を強化しました。

大学・官公庁向け販売を主体とするSI営業では、研究開発におけるAI活用が加速する中、各専門分野向け専用機の製造ノウハウを活かし、用途に応じたオリジナル製品の導入を推進しました。

BtoB販売を中心とする特機営業では、法人向けITセミナーの開催やオンライン営業システムの活用により、各種IT機器の販売に加え、外観検査などのAIソリューションとハードウェアを組み合わせたパッケージ販売を強化し、売上および顧客基盤の拡大を図りました。

化粧品・雑貨専門店「ハウズ」では、独自商品の展開と季節ごとのイベント実施を軸に、顧客増加に努めました。

出版・広告事業を手がける「株式会社シティ情報ふくおか」では、紙面とデジタルを組み合わせ、より効率的な訴求力と広いリーチを実現する施策を展開し、事業拡大を図りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は346億89百万円（前年同期比4.0%増）、営業利益は24億24百万円（前年同期比46.8%増）、経常利益は24億47百万円（前年同期比46.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は16億5百万円（前年同期比43.3%増）となりました。

なお、売上高並びに営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、第3四半期連結累計期間としてそれぞれ2期連続で過去最高を更新いたしました。

セグメントごとの売上高は次のとおりです。

- ①パソコン・ゲーム事業は、「AIの日常化に挑戦する会社」直販型メーカーを目指し、令和7年10月Windows10サポート終了に伴う買い替え需要の増加を背景に、名古屋生産工場本稼働による高機能&高単価オリジナル製品生産拡大と高付加価値サービス提供により、売上高は270億14百万円（前年同期比13.3%増）となりました。
- ②化粧品・雑貨事業は、「ささやかな、幸せ感の創出」小さな感動が溢れる雑貨店を目指し、アプライドグループ自社農園「ひーな農園」を活用した販促イベントにより他社との差別化を進め、卸売販売が減少したことで、売上高は74億60百万円（前年同期比19.3%減）となりました。
- ③出版・広告事業は、「県内ダンツの情報発信基地」を目指し、最新のデジタルを活用した販促ソリューション提案に加え、行政・地方自治体との地域活性化推進事業を展開し、誌面広告販売が減少したことで、売上高は2億43百万円（前年同期比9.7%減）となりました。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ21億41百万円増加し、223億20百万円となりました。これは主に、現金及び預金が9億7百万円増加し、有価証券が7億円増加し、棚卸資産が17億26百万円増加し、売掛金が12億32百万円減少したためです。

負債の部は、前連結会計年度末に比べ8億53百万円増加し、90億79百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が6億33百万円増加し、契約負債が5億19百万円増加し、未払法人税等が1億79百万円減少したためです。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ12億87百万円増加し、132億41百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益16億5百万円等により利益剰余金が12億80百万円増加したためです。

この結果、自己資本比率は、58.8%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和7年11月14日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和7年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和7年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流动資産		
現金及び預金	5,971	6,879
電子記録債権	25	18
売掛金	7,335	6,102
有価証券	-	700
棚卸資産	1,009	2,735
その他	282	130
貸倒引当金	△60	△58
流动資産合計	14,565	16,508
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,024	1,931
土地	2,384	2,366
建設仮勘定	10	420
その他（純額）	151	154
有形固定資産合計	4,571	4,873
無形固定資産	14	13
投資その他の資産		
敷金及び保証金	539	523
その他	488	402
投資その他の資産合計	1,027	925
固定資産合計	5,613	5,812
資産合計	20,179	22,320

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和7年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和7年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,624	4,257
1年内返済予定の長期借入金	89	51
未払法人税等	562	383
契約負債	2,401	2,921
賞与引当金	194	107
その他	631	673
流動負債合計	7,504	8,395
固定負債		
長期借入金	308	269
長期未払金	406	406
その他	6	8
固定負債合計	721	684
負債合計	8,225	9,079
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	381	381
資本剰余金	909	909
利益剰余金	10,550	11,831
自己株式	△0	△0
株主資本合計	11,840	13,121
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	2
その他の包括利益累計額合計	0	2
非支配株主持分	111	116
純資産合計	11,953	13,241
負債純資産合計	20,179	22,320

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年12月31日)
売上高	33,339	34,689
売上原価	26,193	26,550
売上総利益	7,146	8,139
販売費及び一般管理費	5,495	5,715
営業利益	1,651	2,424
営業外収益		
受取利息	0	9
受取手数料	3	3
受取賃貸料	9	10
協賛金収入	1	3
その他	3	3
営業外収益合計	19	30
営業外費用		
支払利息	2	3
為替差損	0	1
その他	0	1
営業外費用合計	3	6
経常利益	1,666	2,447
税金等調整前四半期純利益	1,666	2,447
法人税、住民税及び事業税	393	751
法人税等調整額	145	85
法人税等合計	539	837
四半期純利益	1,127	1,610
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,119	1,605

## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年12月31日)
四半期純利益	1,127	1,610
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	2
その他の包括利益合計	0	2
四半期包括利益	1,127	1,612
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,120	1,607
非支配株主に係る四半期包括利益	7	5

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間（自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	パソコン・ ゲーム事業	化粧品・ 雑貨事業	出版・ 広告事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	23,847	9,244	247	33,339	-	33,339
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4	0	21	26	△26	-
計	23,852	9,244	269	33,365	△26	33,339
セグメント利益又は損失 (△)	1,497	△11	36	1,522	128	1,651

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去128百万円であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

## II 当第3四半期連結累計期間（自 令和7年4月1日 至 令和7年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	パソコン・ ゲーム事業	化粧品・ 雑貨事業	出版・ 広告事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	27,008	7,460	221	34,689	-	34,689
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6	-	22	28	△28	-
計	27,014	7,460	243	34,717	△28	34,689
セグメント利益又は損失 (△)	2,296	△25	20	2,291	132	2,424

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去132百万円であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)  
該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)  
該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年12月31日)
減価償却費	135百万円	142百万円